



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

## 「報道について」

校長 永浜 裕之

今日は、報道という視点から話をしたいと思います。少し重たい話題です。

私たちは毎日、平和に過ごしていますが、世界に目を向けると、様々な地域で紛争が続いており、私自身、日々の報道に心を傷めている一人です。国によっては、自分の都合のよいように意図的に情報操作を行い、報道するということもあるようです。

今日は、ある報道カメラマンの一枚の写真についてお話します。この報道カメラマンは1994年、内戦で荒れていたアフリカのスーダンにとどまり、撮影を続けていました。当時のスーダンは長い内戦によって国全体が疲弊し、飢餓が広まっていました。

ある日、このカメラマンは、運命的な場面に巡り合ってしまう。飢えによって道端に倒れ、今にも息を引き取ろうとする幼い少女と、その側で、少女の死を待つように狙っているハゲワシの姿でした。

彼は、その場면을写真に撮りました。写真には、少女とハゲワシ以外、何も写されていません。そこで時間が止まってしまったかのようなすさまじい写真です。

この写真は、報道写真界の最高賞である「ピューリッツァー賞」を受賞しましたが、その後、この写真に関して学者や一般市民までも巻き込み、激しい論争が起きました。その論点は「このような写真を撮る時間があるなら、ハゲワシを追い払い、少女を助けるべきだった」というものでした。

テレビの特集も生まれ、特集に参加した7割近い人がこの主張を指示しました。この番組に当該カメラマンも参加しており、彼は、「あの写真を撮ったあと、私は近くの林の中に座り込んで何時間も一人で泣いた」と語りました。

私はこの番組を見て、「自分は、どうしてあんな光景に出会ってしまったのだろう」とカメラマンが言っているように見えました。また、「よく、このようなTV番組に参加できるな」と感心するとともに、恐らく、TV番組出演が、「自分が考えていることを世界中の人々に理解してもらえる絶好の機会」と捉えていたのだろうと考えました。ところが、7割近い人が、「このような写真を撮る時間があるなら、ハゲワシを追い払い、少女を助けるべきだった」と主張したのです。彼はテレビ番組が放映された一ヶ月後、自分の自動車のなかに排気ガスを引き込んで、自ら命を絶ちました。

カメラマンが写真を撮る前にハゲワシを追い払っても、少女は助からなかったでしょう。もしかしたら、写真を撮った後、彼はハゲワシを追ったのかもしれませんが、しかし、何万人もの人が餓死するような状況の当時のスーダンには、この時の少女のような光景は、いたる所に見られたことだと思います。たとえ、その場所でハゲワシを追っても、ハゲワシは他の場所へ移動しただけであったかもしれません。

それよりも、この事実を世界に伝え、世論の力で、この国の根本的な問題を解決するべきであると、とっさに思ったはずですが、それでも彼は、多くの非難を受け、自殺するほどまで追い込まれてしまったのです。

皆さんは、この論争についてどう考えますか。

私たちは、この例とは異なり、比較的、物事の善悪が明確な世の中で生活しているように感じています。

しかし、広い世界には、いや、皆さんの身の回りにも、善悪が明確のように見えていて、立場を替えると全く違った結論になることが沢山あります。むしろ、「絶対的な善」や、「絶対的な悪」は少ないといっても過言ではないかもしれません。近い将来、皆さんは、このような複雑な社会に巣立っていくわけです。

そのような社会で自分という存在を保っていくには、様々な知識を備え、知識を土台とした自分の意見をしっかりと持ち、語り、実行できる勇気と、また、他人の意見に素直に耳を傾ける謙虚さや、反対の意見をも取り入れる度量なども必要です。

さらに、報道されていることすべてが真実なのかどうか、自分で判断するために、「クリティカル・シンキング」という力も必要です。

是非、このような人間として大切な力を、高校生活で学んでいってください。

# 第31回山吹祭「Revival」～文化祭実行委員会の取り組み～

生活指導部 主任教諭 堀 飯豊

2年ぶりに山吹祭が開催され、コロナ渦ではありましたが、多くの出展団体が参加してくださり、多くのお客様がご来場してくださいました。昨年度、「山吹ネットフェス～Connect To Our Feature!～」を開催しましたが、その経験がまさにコネクトされ、今年度実行委員会では新たな取り組みとして、紙パンフレットの自校作成、フェスページ（デジタルパンフレット）の作成、校内祭のライブ配信、Teamsを活用した実行委員会や広報活動を行いました。今年度の文化祭を、一部ですが、実行委員の生徒の感想とともに振り返ります。

## ・校内祭のライブ配信



配信の作業をしてとても緊張しましたが、やりがいを感じる事ができました

配信の作業を通じて、テレビなどが楽しめるのはこうした裏で作業をしている人がいるからだと思います

リハーサルとか校内祭の配信中の緊張感がとても良かったです

## ・生徒が作成したパンフレット

### 注意事項

- 1 入場口付近に設置し、通行の妨げにならないよう注意してください。
- 2 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 3 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 4 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 5 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 6 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 7 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 8 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 9 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。
- 10 展示物の設置は、展示物の高さや重さ、設置場所の状況に応じて行ってください。

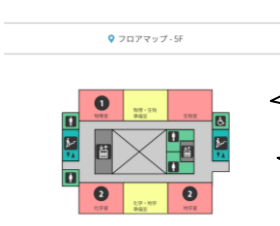
### フロアマップ 7F

自分の作ったものが大衆の目に広まることは嬉しかった

作り上げるのが楽しかった。パンフレットここの作ったんだよって自慢した

作ったパンフレットが形になって残るのが達成感があったよかったです

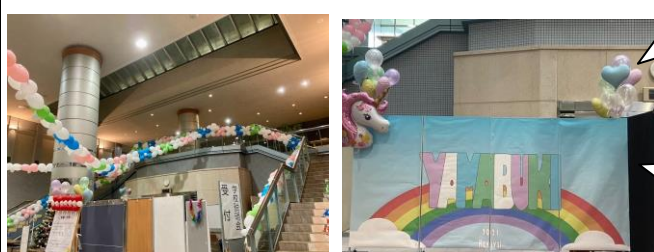
## ・生徒が作成したフェスページ（デジタルパンフレット）



HTMLのプログラミングや動画編集など今までやったことのないことができたので良かったです

フロントエンド（WEBサイトのデザインなど）の技術が上がった

## ・校内の装飾



（印象に残ったことは？）頑張っ  
てふくらました風船を最後割りま  
くったこと。楽しかった

エントランスの風船の飾り付け  
が終わって全体を見たとき、す  
ごーい！ってなった

## ・感染症対策



対面での文化祭を経験  
していない生徒が多い  
中、感染症による制約  
がありながらもトラブ  
ルなく開催することが  
できて本当によかったです  
と思います

「比較的個を尊重される山吹で初めて一致団結をする体験をできて、この学校に入って良かったと改めて思いました。」  
 「当日のみんなの顔がとても誇らしげで見ていて清々しかった。片付けのときも『あつという間だったなあ』『あと1日やりたいなあ』とすごく名残惜しく、それだけ充実した活動がみんなとできた」「最後まで全員楽しそうに仕事をしていたのがとても印象的でした。とにかく高校生らしい体験ができたことが印象深いです。」「楽しかったです！大学生になってもこういう(?)みんなでひとつのものを作っていく活動に関わっていきたいです」

定時制課程 学校行事予定	
1月15日 (土) ~16日 (日)	共通テスト
26日 (水)	推薦選抜 ※ 生徒登校禁止
2月7日 (月)	自己探索学習
9日 (水)	期末考査時間割発表
11日 (金)	建国記念の日
16日 (水)	後期期末考査
17日 (木)	午前中授業 (午後、入学者選抜準備)
18日 (金)	2学年相当以上入学者選抜
21日 (月)	1学年相当入学者選抜
22日 (火)	休業日 (入選採点)
23日 (水)	天皇誕生日 (入選採点)
24日 (木)	～3月1日 (火) 後期期末考査

通信制課程 学校行事予定	
1月15日 (土)	生徒相談日、共通テスト～16日 (日)
22日 (土)	生徒相談日
29日 (土)	後期試験①
2月5日 (土)	後期試験②
11日 (金)	建国記念の日
12日 (土)	後期試験 (重複等変更日)
←定時制課程、入学者選抜に留意	
23日 (水)	天皇誕生日 (入選採点)
26日 (土)	生徒相談日